

# 令和4年度 札幌市立札幌中学校 特別活動全体計画

<p><b>本校の生徒の実態と課題</b></p> <p>[個人] ○明るく素直で、人懐っこい生徒が多い。 ○素直に自分の感情を表現できる生徒が多い。 ●基本的な生活習慣や学習習慣が定着できていないため、基礎学力が低い。 ●感情のコントロールができず、自律できていない。また、コミュニケーション能力も低い。 ●自己肯定感や有用感が低く自己の理想の姿や夢を語る生徒が少ない。</p> <p>[集団] ○集団として目標が明確になれば、協力して一人一人が力を発揮できる。 ○エネルギーが豊富な集団である。 ●なまなまになってしまい、集団としての逞しさが無い。 ●学校環境をよくしたいと考えている生徒は多いが、行動に移す生徒は少ない。 ●集団に埋もれてしまい、個性を発揮できる生徒が少ない。</p>	<p><b>学校の教育目標</b></p> <p>『未来を開く逞しさを』</p> <p>□学ぶよろこび 真理を愛し 文化を創造する能力(知) □豊かな心 人や自然を愛する 豊かな情操(徳) □逞しい心身 健康で逞しい体力と強靱な意志力(体)</p>	<p><b>現代社会の要請</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな人間性の形成</li> <li>公共の精神を学ぶ態度</li> <li>国際社会への貢献</li> </ul>
<p><b>保護者の願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人との協調性、自主性を身につけてほしい。</li> <li>自分の将来について主体的に考え、行動できるようになってほしい。</li> </ul>	<p><b>今年度の重点</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1「知」「徳」「体」のバランスのとれた教育課程、新学習指導要領を踏まえた指導</li> <li>2 豊かな心の育成を目指し、厳しさの中にも温かみのある生徒指導</li> <li>3 健やかな体の育成を目指し、運動に親しむ姿勢と心身の健康の保持増進を図る指導</li> <li>4 日常実践に根ざした学び合う研修活動の充実</li> <li>5 教育環境の整備充実と活動実践をふまえた有効的活用</li> <li>6 特別な配慮を必要とする生徒に対する理解と適切な支援</li> <li>7 家庭や地域・関係機関との連携を密にした教育の推進</li> </ol>	<p><b>各教科との関連</b> 全教科等における言語活動の充実</p> <p><b>道徳との関連</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相互の補完関係を生かす。</li> <li>道徳実践の充実</li> <li>道徳性の育成に関わる体験を積極的に取り入れ、活動の充実を図る。</li> </ul> <p><b>総合的な学習の時間との関連</b> 自然体験や地域との交流など、今年度のテーマとの有機的な関連を図る。</p> <p>・その他の関連 生徒指導と学級活動との関連</p>
<p><b>家庭・地域等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事への生徒スタッフの参加</li> <li>連合町内会による札幌ガーデンへの支援</li> <li>地域事業所における職場体験</li> <li>さっぽろ雪まつりつどーむ会場へのボランティア参加</li> <li>各PTA活動</li> </ul>	<p><b>目指す生徒の姿</b></p> <p>□学ぶよろこび 「真理を愛し、文化を創造する能力(知)」 自ら学ぶ力の育成と基礎的・基本的な学力の定着</p> <p>□豊かな心 「人や自然を愛する豊かな情操(徳)」 集団への帰属意識の醸成と豊かな情操の育成</p> <p>□逞しい心身 「健康で逞しい体力と強靱な意志力(体)」 規範意識の醸成と強靱な体力と意志力の育成</p>	<p><b>教職員の願い</b></p> <p>研究主題 社会を築き、しなやかに伸びゆく生徒の育成</p> <p>研究副主題 生徒がつながりを実感する授業づくり</p>

<b>特別活動の目標</b>		
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う		
<b>学級活動の目標</b>	<b>生徒会活動の目標</b>	<b>学校行事の目標</b>
学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる	生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる

<b>各学年の重点目標</b>		
<p><b>第1学年</b> 集団活動を通して、学校生活に慣れ、協力して物事に取り組む喜びを味わわせながら、積極的に活動できる意欲や態度を育む。</p>	<p><b>第2学年</b> 集団活動を通して、社会貢献の意義を理解しつつ、集団生活を高める活動をつくり出せるようにする。</p>	<p><b>第3学年</b> 集団活動を通して、自己の能力を発揮し、学級や学校、地域に貢献しながら、自己実現に向けて進路を切り拓くことができるようにする</p>

	学級活動	生徒会活動	学校行事
<b>重点目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 望ましい人間関係築く力を育み、よりよい学級生活を築きあげようとする意欲を高める。</li> <li>2 話し合い活動を通して、望ましい集団決定や自己決定をし、実践に取り組む態度を育てる。</li> <li>3 人間としての生き方についての自覚を深め、自己を活かす能力を養う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 よりよい学校生活づくりを通して、「人間関係を築く力」、自発的、自治的な能力を高める。</li> <li>2 ボランティア活動等の社会参加を通して、社会貢献の精神を育む。</li> <li>3 全校生徒が生徒会会員としての自覚を持ち、よりよい校風づくりに尽力できる態度を養う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職場体験等を通して、社会貢献や公共の精神を養う。</li> <li>2 学校行事に積極的に取り組みながら「人間関係を築く力」をキーワードに集団への所属感や連帯感を深める</li> </ol>
<b>活動の内容</b>	<p>学級活動の内容 学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動</p> <p>(1) 学級や学校の生活づくり ・学級目標づくり ・学級役員選出 ・学級組織づくり など</p> <p>(2) 適応と成長及び健康安全 ・学期の目標づくり ・ボランティア活動の意義 ・望ましい食習慣の形成 など</p> <p>(3) 学業と進路 ・学ぶことと働くことの意義 ・キャリア教育 ・進路の選択と未来設計 など</p>	<p>生徒会活動の内容 学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動</p> <p>(1) 生徒会の計画や運営 ・議案審議</p> <p>(2) 異年齢集団による交流 ・兄弟学級交流</p> <p>(3) 生徒諸活動についての連絡調整 ・各常任委員会 ・各局会 ・各学年協議会</p> <p>(4) ボランティア活動などの社会参加 ・ボランティア活動</p>	<p>学校行事の内容 学校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動</p> <p>(1) 儀式的行事 ・始業式、終業式、修了式 ・着任式、離任式 ・入学式、卒業式 ・認証式</p> <p>(2) 文化的行事 ・学校祭</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事 ・避難訓練</p> <p>(4) 旅行・集団宿泊的行事 ・校外学習、宿泊学習、修学旅行</p> <p>(5) 勤労生産・奉仕的行事 ・学期末大掃除</p> <p>★学校祭は練習時間を確保し、地域に誇れる行事となるよう重きを置く ★学校祭、職場体験活動は、総合的な学習の時間と連携</p>
<b>評価と改善</b>	<p>学級活動(1)～(3)、生徒会活動(1)～(4)、学校行事(1)～(5)を内容のまとまりとして「集団活動や生活への関心・意欲・態度」「集団や社会の一員としての思考・判断・実践」「集団活動や生活についての知識・理解」の三つの評価の観点を設定し、それらごとに評価していく。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動の過程で、生徒の変容を促す手だてを講じる。</li> <li>・集団決定や自己決定をした内容の実践の成果と課題を自己評価や相互評価、教師による観察等で評価し、次への取組に生かす。</li> <li>・評価の観点を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒にアンケート調査を行い、活動の見直しと改善を図る。</li> <li>・評価結果を分析し、次への取組に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後の感想文や発表会で活動の成果と課題を生徒が相互評価する。</li> <li>・教師間での反省会やアンケート調査を行い、結果を分析し、次への取組に生かす。</li> </ul>
	<p>学年末、年度末の学校評価の評価項目に、特別活動の重点目標や各学年の指導の重点について記載し、教職員、生徒、保護者対象のアンケート調査を行い、評価結果を分析して次への取組に生かす。</p>		